

《担当者名》 三国 久美 mikuni@hoku-iryu-u.ac.jp 木浪 智佳子 加藤 依子 川崎 ゆかり

【概要】

成長・発達過程にある子どもの特徴、家族および環境が子どもに与える影響を理解するとともに、子どもと家族を対象とした看護実践の基盤となる知識と技術を学ぶ。

【学修目標】

1. 子どもと家族を対象とした小児看護の役割を考えることができる。
2. 健康障害を持ち、医療を受ける子どもと家族への看護実践に必要な知識を習得することができる。
3. 基本的な小児看護技術の目的、原則を理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	小児看護の理念	小児看護の対象と目的 子どもの権利の擁護	三国
2	子どもを取り巻く社会状況と看護	少子化社会の現状と小児看護の課題	三国
3	子どもと家族のアセスメント(1)	子どもの成長と運動・認知の発達	三国
4	子どもと家族のアセスメント(2)	子どもの遊びの発達と生活習慣の自立	三国
5	健康問題を持ち、さまざまな状況にある子どもと家族の看護(1)	病気や入院が子どもと家族に与える影響 プレパレーションの概念と目的	三国
6	健康問題を持ち、さまざまな状況にある子どもと家族の看護(2)	外来を受診した子どもと家族の看護	三国
7	健康問題を持ち、さまざまな状況にある子どもと家族の看護(3)	慢性疾患を持つ子どもと家族の看護	三国
8	健康問題を持ち、さまざまな状況にある子どもと家族の看護(4)	終末期にある子どもと家族の看護	木浪
9	健康問題を持ち、さまざまな状況にある子どもと家族の看護(5)	手術を受ける子どもと家族の看護	木浪
10	子どもの看護の基本となる技術(1)	技術演習(グループに分かれて実施) ・子どもの抱き方とおむつ交換	川崎、木浪、 加藤、三国
11	子どもの看護の基本となる技術(2)	技術演習(グループに分かれて実施) ・子どもの病床環境整備・子どもの身体計測	川崎、木浪、 加藤、三国
12	子どもの主要症状と看護(1)	発熱・脱水のアセスメントと看護	三国
13	子どもの主要症状と看護(2)	下痢・嘔吐のアセスメントと看護 事例を用いたアセスメント	加藤
14	子どもの主要症状と看護(3)	下痢・嘔吐のアセスメントと看護 事例のアセスメントに基づいた看護援助の立案	加藤
15	子どもの主要症状と看護(4)	喘鳴・咳嗽のアセスメントと看護	三国

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験70%・ミニテスト20%・ミニレポート10%

【教科書】

二宮啓子・今野美紀編, 看護学テキストNICE小児看護学概論, 改訂第3版, 南江堂, 2017.

今野美紀・二宮啓子編, 看護学テキストNICE小児看護技術, 改訂第3版, 南江堂, 2017.

日本家族計画協会, 母子健康手帳, 2020年度版.

【学修の準備】

教科書の該当部分を読み、1時間程度の予習および復習を行うこと。
毎回の講義時に次回の予習内容について指定する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1

【実務経験】

三国久美（保健師）、木浪智佳子（看護師）、加藤依子（看護師）、川崎ゆかり（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護および母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。